

公表

## 事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス こども通所サービス にじいるプラス		
○保護者評価実施期間	2025 年 1 月 6 日 ～ 2025 年 1 月 31 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10 名	(回答者数) 9 名
○従業者評価実施期間	2025 年 1 月 20 日 ～ 2025 年 1 月 31 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 名	(回答者数) 5 名
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 2 月 17 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者に送迎をしていただくことにより、密に情報を共有することができる。	送迎時に、困りごとや聞きたいことを気軽に話せるように、職員から声をかけるようにしている。	どの職員でも話が聞けるように、職員の、傾聴や会話のスキルアップに取り組んでいる。 定期的なモニタリングだけでなく、必要に応じて相談の機会を随時設けていく。
2	音楽プログラムに、専門の資格を取得した職員が担当している。	・こども中心！こどもが真ん中！の表現をモットーに、今『こども達が興味を持っているもの』と音楽を結びつけながら、表現力・集中力・記憶力・思考力・創造力・想像力・即時反応力等が身につくようなプログラム作りに取り組んでいる。	職員全員が活動内容をよく把握して、支援を提供できるように心掛けていく。
3	個別学習プログラムを行っている。	1対1で指導することで、学習することの習慣化、集中力・持続力の定着につなげている。	こどもの苦手分野を的確に捉え、アプローチの種類を増やしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のこどもとの関わりが少ない。	他の施設等との時間の調整連絡がうまくできなかった。	他のいろいろな施設と連携していけるよう取り組んでいく。
2	H P の活用	H P に携わる人員の欠如	H P をリニューアルし、行事予定など保護者が必要とする情報を、毎月更新していく。
3	非常時の対応についての周知が図れていない。	年4回の避難訓練を行ったり、非常時の対応マニュアルを、自由に見れるよう掲示しているが、周知しきれていない。	H P に、避難訓練の様子や非常時の対応マニュアルを載せる。